

戦利品?

戦争の被害を他国にまで広げてしまった愚かで軽率な行動の責任は誰がとる?

毎日新聞写真部の記者がイラクから持ち帰ったクラスター爆弾の子弾がアンマン空港で爆発し、空港職員を死傷させた事件。亡くなった方のご遺族とヨルダン政府の温情で、大幅な減刑に落ち着きそうだが、こんなもん、極刑になってもおかしくない。

それにしても爆発物であろうと神経が理解不可能。筆者がイスラエル北部国境地帯に滞在している時、敷地内にM-16の弾丸がゴロゴロ転がっていたが、そんなもん触ろうとも思わなかった。なぜなら兵器と思しきものには触れずに済むなら触れたくないというのが正常な人間の神経だし、自分が仕事をさせてもらった国のものを、ゴソ泥みみたいに持ち帰るなんて、取材現場で例のものを拾ったり、それを投げ合ったりしてふざけているのを目撃した他の記者も、なぜ彼を叱責しなかったのか? 戦争の悲惨さを伝えるはずの新聞社がこんな愚か者をかかえているというのに、廃刊の話が浮上しないのも不思議。戦場の報道だからこそ、全員にしっかりした道徳観をもって欲しかった。

いまだどきの歴史

一番新しい日本の一ページ

不死鳥!!

対抗意識で勝利のセオリーを忘れたか? 豊郷町住民グループの苦々しい再選挙

不死鳥



豊郷小学校の旧校舎を残すや否やでもめた滋賀県豊郷町。住民投票で解職された新校舎建設派の大野前町長が出直し選挙で再選され、住民グループ「豊郷一新の会」には苦々しい結果となった。選挙戦は大野氏が豊郷小学校改築問題や市町村合併などについて町議と政策協定を結んだり、政策の新機軸を打ち出したことに対し、「豊郷一新の会」が擁立した伊藤候補は一貫して現校舎の改修・活用を主張。さらに意見を同じくする戸田氏と票を食い合い、僅差で落選してしまっただけでなく、企業を巻き込みつつ、大きな力を結成しなければ、旧校舎は消えゆくだろう。ヴォーリスにゆかりの深い近江兄弟社さん、ひと肌脱ぐのはどう?

ともあれ、豊郷小学校ほか、ヴォーリス設計の建築物は、京滋の貴重な財産であることに変わりない。今後は住民の声だけでなく、企業を巻き込みつつ、大きな力を結成しなければ、旧校舎は消えゆくだろう。ヴォーリスにゆかりの深い近江兄弟社さん、ひと肌脱ぐのはどう?

イラクでこんな遊びが流行らないように

米軍は即刻回収を!!



クラスター爆弾の子弾

鶴(又E)

多様化ニーズの申し子か、単なる迎合か? 業界が堂々と打ち出したノンコンセプト

ゴールデンウィーク前、京都市にオープンした複合娯楽施設は、15分100円で施設内のボウリング場や釣り堀、バスケットコート、カラオケ、サウナなど、約50種の施設を24時間自由に使えるというもの。割安感に加え、気分に合わせていろんな施設を選べるという自由さで、人気上々だとか。さらに、空きビルを利用したものであり、物件の有効活用という観点からも注目されている。

しかしながら、ちょっと気になる点も。今までの娯楽施設は「これでどや!」という明確なコンセプトを打出していた(アタリハズレがあったものの...)。ノンコンセプトがコンセプトと言ってしまうえば聞こえはいいが、消費者の移り気な傾向への迎合に、業界の心意気を感じられないのだ。大衆が好みそうなものをツギハギにした「スエの娯楽施設」と言えないこともない。景気低迷で「明日はどうかかわからない」このご時世だからこそ、アミューズメント新境地を切り拓く店が出て欲しいものだが...



迎合時代の「バスフットボール」新スポーツ

文◎大塚 祐希

京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル滞在以来、異文化を紹介するTEXTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人々とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を自論む。HP●<http://www.1ocn.ne.jp/tsukapon/>

イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi>